

アスコルビン酸・パントテン酸カルシウム (1) (3179115)

【成分】

1g 中、アスコルビン酸 200mg、パントテン酸カルシウム 3mg

【適応と用法】

【注意事項】

(2)臨床検査結果に及ぼす影響: 各種の尿検査で、尿糖の検出を妨害することがある [アスコルビン酸(ビタミン C)による]

(3)適用上の注意 調剤時

(a)アルカリ性薬剤, 吸湿性薬剤との配合は避ける

(b)配合時の粉砕は避ける

(4)室温・(顆粒)遮光保存

【副作用】

(1)副作用: 使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない 消化器(頻度不明): 胃不快感, 悪心・嘔吐, 下痢等が現れることがある

【長期】

【備考】

酪酸リボフラビン(3131002)

【成分】

[細]: 10%, 20%

[顆]: 10%

[錠]: 1錠中 20 mg, 40 mg

酪酸リボフラビン[ビタミン B2 酪酸エステル【(局別)】]はだいたい黄色の結晶又は結晶性の粉末で, わずかに特異なにおいがあり, 味はわずかに苦い。メタノール, エタノール又はクロロホルムに溶けやすく, エーテルに溶けにくく, 水にほとんど溶けない。光によって分解する。融点: 146~150° C

【適応と用法】

(1)高コレステロール血症

(2)ビタミン B2 欠乏症の予防及び治療

(3)次の疾患のうちビタミン B2 欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合: 口角炎, 口唇炎, 舌炎, 脂漏性湿疹, 結膜炎, びまん性表層角膜炎

(4)ビタミン B2 の需要が増大し, 食事からの摂取が不十分な際の補給(消耗性疾患, 妊産婦, 授乳婦, 激しい肉体労働時等)。

40 mg 錠は(1)だけ。(1)(3)の適応に対して, 効果がないのに月余にわたって漫然と使用しない

1日 5~20 mg, 高コレステロール血症には 60~120 mg, 2~3 回に分服(増減)

【注意事項】

(2)臨床検査値への影響: 尿を黄変させ, 臨床検査値に影響を与えることがある

(3)室温保存

(4)規制等: 酪酸リボフラビン局

【副作用】

(1)副作用: 本剤について行われた 2 回の再評価の成績を示す

(a)1977 年再評価結果: 2,040 例中, 18 例(0.88%)に 21 件(1.03%)の副作用が認められた。主な副作用は, 下痢 0.29%, 胃膨満 0.15%, 腹部膨満 0.10%, 食欲不振 0.10%等であった

(b)1995 年再評価結果: 328 例中, 11 例(3.35%)に 11 件(3.35%)の副作用が認められた。主な副作用は, 下痢 0.61%, 悪心・嘔吐 0.61%等であった

その他の副作用

0.1~5%未満 0.1%未満

消化器 下痢, 悪心・嘔吐, 胃膨満, 腹部膨満 胃不快感, 食欲不振等

【長期】

<内服>脂質代謝障害 (14): 30 日

【備考】